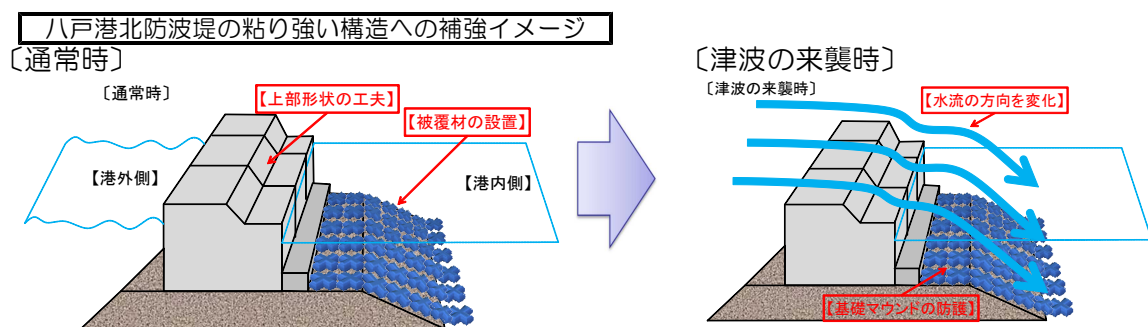


防波堤の災害復旧に関する現地見学会のご案内

東日本大震災で被災した八戸港八太郎地区北防波堤の災害復旧に関する現地見学会を開催いたします。

この防波堤は東日本大震災の津波によりほとんどが倒壊し、現在、災害復旧工事を行っています。復旧工事を進める上で、津波に対しても「粘り強い構造」となるよう工夫しながら整備を進めているほか、復旧工事の作業省力化に向けた取り組みを行っています。

報道機関の皆様に対し、これらの取り組みに関する現地見学会を開催致します。



現地見学会の概要は下記のとおりです。
(詳細については別紙をご参照ください。)

記

1. 日時：平成25年2月27日(水) 10:10～12:15
2. 場所：八戸港湾・空港整備事務所 および ブロック製作ヤード
3. 日程：
 - 10:00 八戸港湾・空港整備事務所集合
 - 10:10 事務所会議室にて「粘り強い構造」の説明
 - 10:30 車にてブロック製作ヤードへ移動(各自)
 - 10:45 ブロック製作状況および陸上での施工性確認試験の見学会
 - 11:20 車にて乗船場所へ移動(各自)
 - 11:30 港湾業務艇「ほくと」にて八太郎北防波堤の見学会
 - 12:15 見学会終了

※当日の気象海象状況により中止もしくは日程内容を変更する場合があります。

【問い合わせ先】国土交通省 東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所

電話 0178(22)9391

副所長 原田 久志

電話 0178(43)8135

港湾空港環境対策官 長尾 憲彦

現地見学会 会場周辺位置図①



【八戸港湾・空港整備事務所 詳細位置図】

(住所) 〒031-0071 八戸市沼館4丁目3番19号



現地見学会 会場周辺位置図②

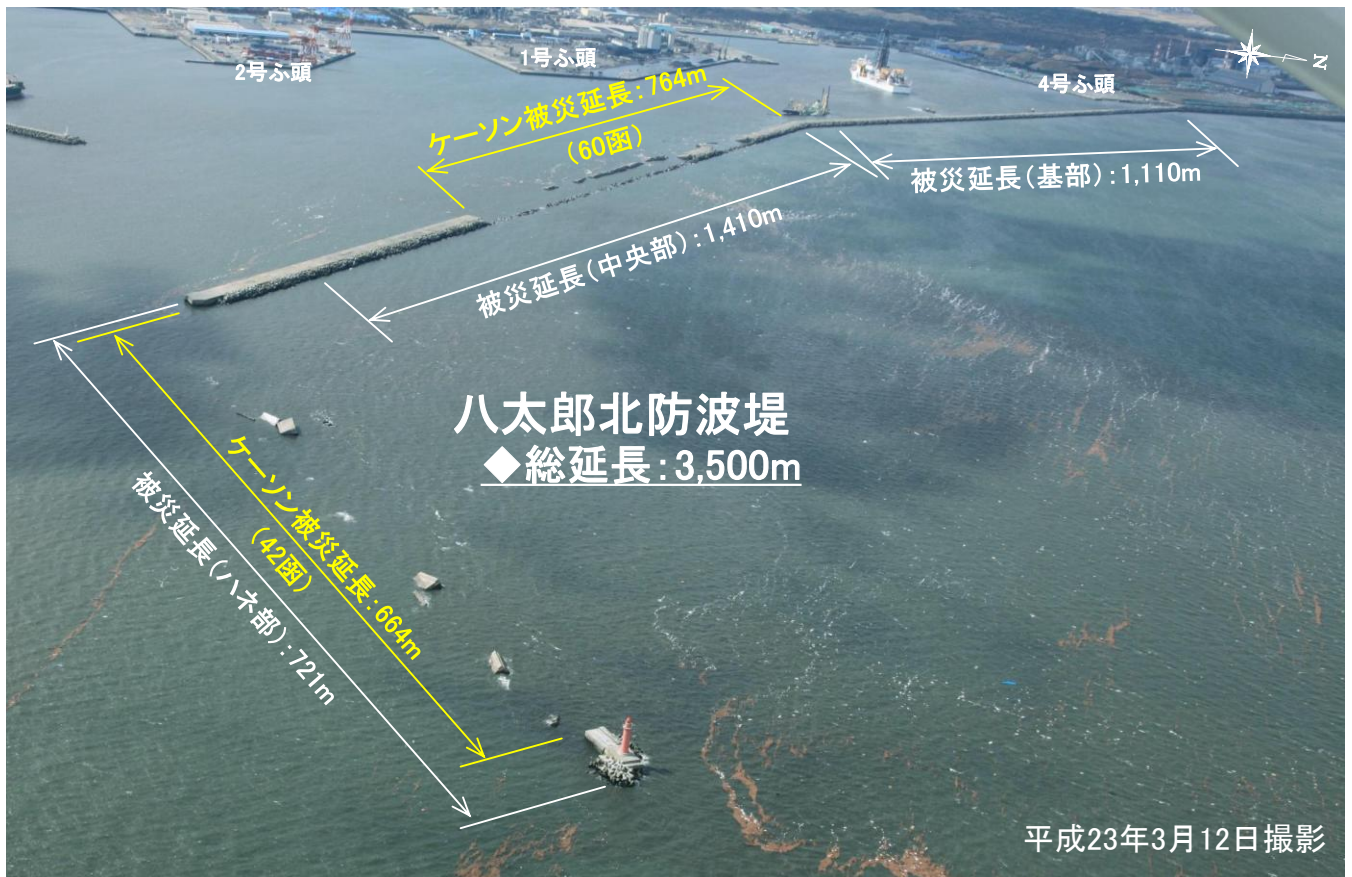
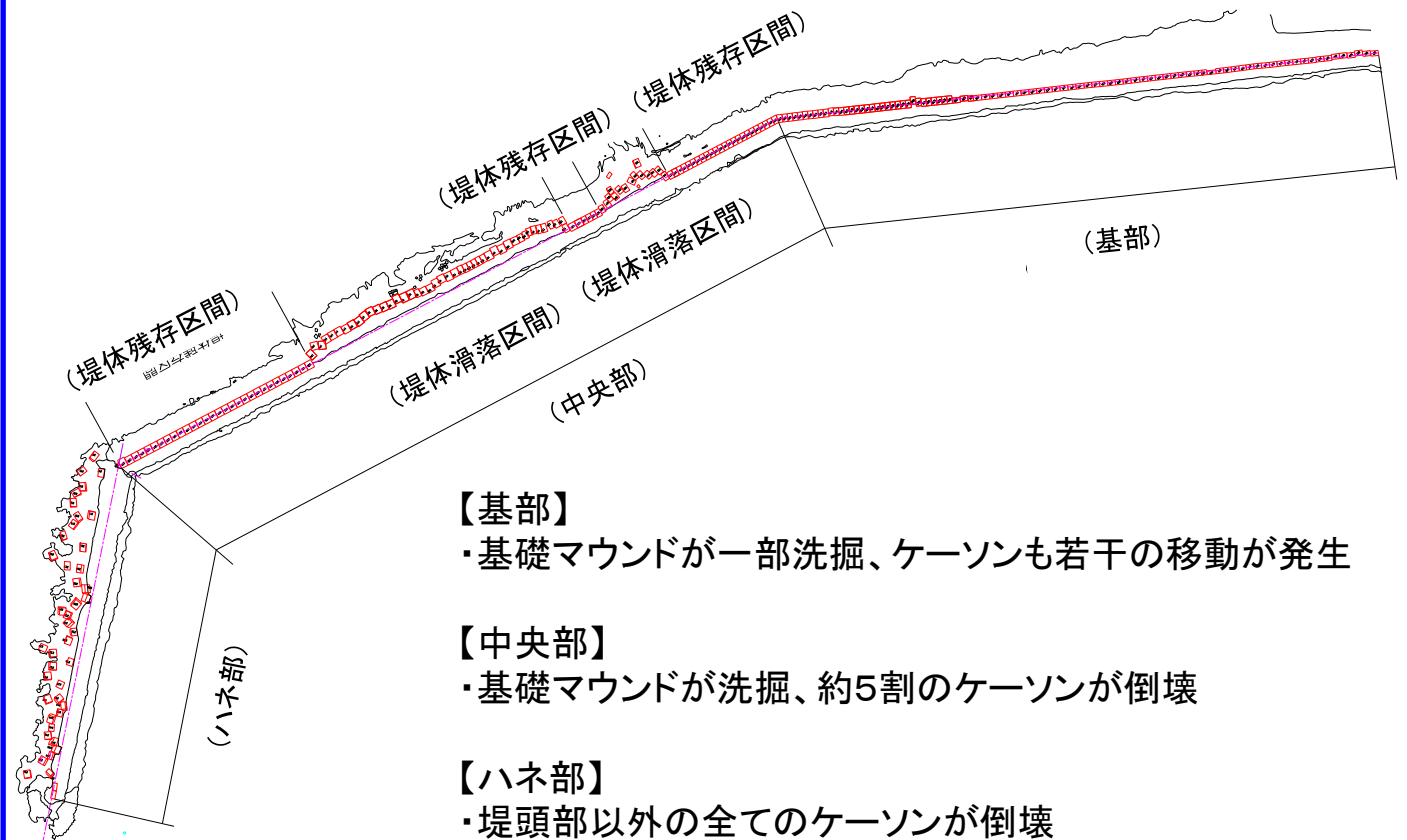
【ブロック製作ヤード(河原木2号ふ頭) 詳細位置図】



【乗船場所(河原木1号ふ頭G岸壁) 詳細位置図】



八太郎北防波堤の被災状況



被覆ブロック等の据付作業に関する施工性確認試験 ～水中作業を陸上で再現～

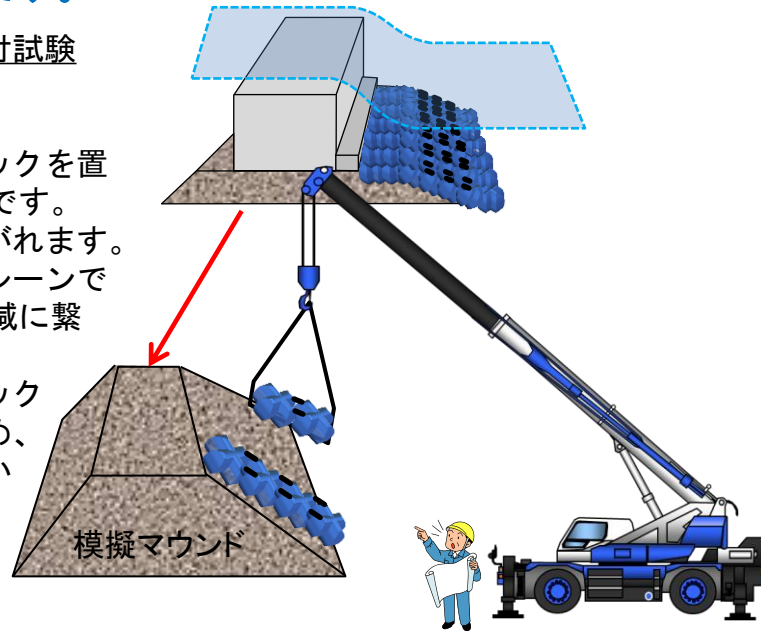
【試験目的】

視界の遮られた水中部において、「連結した被覆ブロック」や「ブロックの二段積み」が、所定の位置に効率的に据え付けることができるか、陸上に設置した試験用模擬マウンドを用いて確認するものです。

【試験名】 連結ブロックのマウンド法面据付試験

【実施概要】

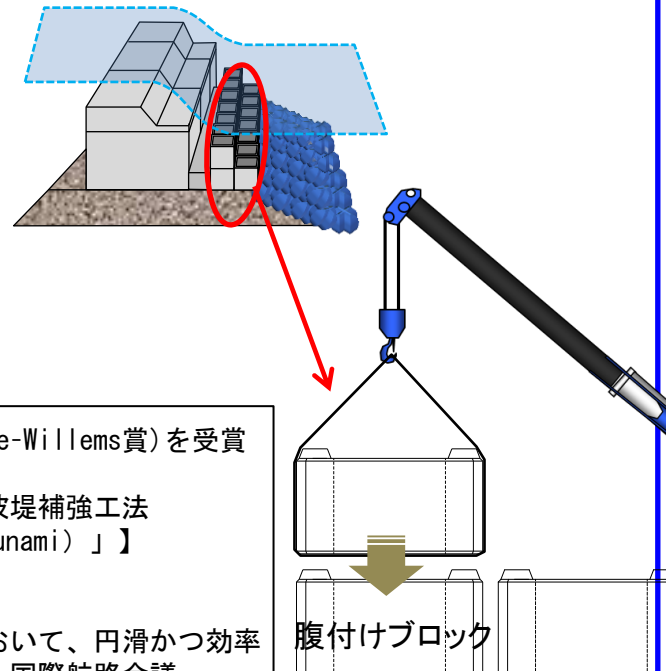
- ・ 津波への耐力を向上させるには、単にブロックを置くだけでなく、ブロック同士の連結が必要です。
- ・ ブロックはシャックルと呼ばれる金属で繋がれます。
- ・ ブロックを陸上で連結し、これを一度にクレーンで吊り上げ据え付けることは、水中作業の軽減に繋がります。
- ・ 一方で、視界の遮られた水中への連結ブロックの据付は、クレーン操作に技術を要するため、所定の位置に効率的に据付することが可能か試験を行うものです。
- ・ なお、海底作業を想定した試験のため、クレーンオペレーターの視界を遮断した上で、誘導者の指示だけで作業します。



【試験名】 腹付けブロック 2 段積み試験

【実施概要】

- ・ ケーソン背後に設置するブロックは「腹付けブロック」と呼ばれ、これを3個を積み上げて設置されます。
- ・ 1個当たり20トン、片側を2個積みし、高さ3mとなります。
- ・ 連結ブロック同様にオペレーターの視界を遮断した上で、誘導者の指示だけで作業し、所定の形状に設置できるか確認します。



この対策は国際航路協会 (PIANC) の最優秀論文賞 (De Paepe-Willems賞) を受賞した技術であり、世界で初めて八戸港に適用されます。

【松下紘資 (日建工学株式会社)、「巨大津波に対する防波堤補強工法 (Breakwater Reinforcement Method against Large Tsunami)」】

※国際航路協会 (PIANC) :

河川や運河を利用した内陸水運の発達したヨーロッパにおいて、円滑かつ効率的な交通・交易のための国際間協議を目的として開催された国際航路会議 (International Navigation Congress) を機に1885年に設立された団体。

国連の諮問機関にも指定され、ベルギー国ブラッセルに本部を置き、当初は内陸水路・内陸港のみを対象とした国際会議であったが、1898年第7回大会から海洋港も討議の対象として扱うようになった。